

平成25年度 7月 経営の重点

【通うだけで楽しくてしかたがない、通うだけで助け合う力が育つ「伝説の学校」をつくろう！】

- 学校教育目標・・・「自主貢献」－自主的に判断・行動し、助け合える生徒の育成－
- 目指す生徒像・・・的確に判断できる生徒，自主的に行動できる生徒，助け合いができる生徒
- 目指す教師像・・・一番好きになる教師，気持ちがわかる教師，学び続ける教師
- 3つの重点目標・・・プライド，研究&課題，連携

6月の経営の重点は「明確なゴール設定」でした。

- ゴールのイメージ化!**…各分掌，各担当で生徒像を可視化できたでしょうか？
授業ノート等の秀作掲示，Kタイムの活動を写真掲示，清掃活動の写真掲示等の掲示物は？
- 学級・学年の短期改善計画!**…改善のために2週間をめぐりに生徒と取り組み，改善評価しましたか？
残菜残乳ゼロ運動，教室ゴミゼロ運動，昼休み対抗戦，環境改善計画等の活動は？生徒総会の提案は？
- 授業づくり!**…授業研で「ケアのある学び」は今月に持ち越しです！
学習課題の工夫，学習形態の工夫，学習過程の改善，Kタイムの改善は進んでいますか？

(7月の重点)「評価と達成感」

学校・学年・学級・部活・委員会・職員室・授業の良さや課題は何ですか？教師としての自分の何が変わりましたか？どこを変えましたか？集団に所属する生徒の姿は良くなりましたか？

「評価」とは、対象の良さと課題を明確にし、認める（事実を見て、心に留め、一步踏み出す勇気を持たせる）ことです。良さをどう伸ばすか、課題をどう改善するか、みんなで真剣に話し合い、やるべきことを具体化し、行動変容させることです。評価をしない、変容のための一步を踏み出さない、何もしない、これは最悪です！「失敗は成功の途中」です。失敗を恐れず改善のための一步を！

評価は、やり抜いたという「達成感」を生徒に持たせるために意図的に行わなければなりません。全校で達成感が得られる取り組みを意図的に作って欲しいと思います。例えば、「夏の葛南・県大会にどのように臨ませるのか。帰りの会を時間内でキッチリ終了させ、すぐに放課後の活動場所に移動し、一生懸命な姿を後輩に見せる。先輩の一生懸命な姿を後輩が一生懸命支える。学校中に一生懸命が溢れるほど目に見えるように活動させる。どの部も元気な挨拶で始める。ダメなら、隣の部活動顧問がやり直しさせる。放課後の教室を見回る先生は、学年全部を見て回る。職員も力を合わせて生徒の活動を支える。そして、大会やコンクールに一生懸命取り組み、手の空いている先生や仲間が一生懸命声をからして応援する。」とこのように、全校でひとつの目標に向けてやり抜いた時、達成感が共有されるようにして欲しいのです。1学期の終わりをこのような「達成感」で表現できたら最高です！

学習も同様です。定期テストの点数がだめなら何度でも合格するまで同じ問題にチャレンジさせればよいのです。全員ができるまで何度でも取り組むチャンスを与えるのです。でも工夫しなければうまくはきません。時間は無限にあるわけではないのです。制約が出てきます。そして、大切になるのがバランス感覚です。部活を犠牲にして再テストに打ち込むのもいかなものかと思います。かといって部活だけに専念し、他にやるべきことはほったらかし！というのはダメです。Win-Winの関係になるように優先順位をつけて取り組ませるように指導して欲しいと思います。

目にみえるように変化を作るには、「評価や達成感」を与え、意欲を引き出し、継続させていくことです。今月は、真剣に変化を作らなければならない月です！全職員で同じ方向を目指して頑張りましょう！